

第138回 関西 IVR 撮影技術研究会

記

日時：2025年1月19日（日） 13:30～

場所：大阪公立大学医学部附属病院 5階講堂

（病院地下1階出入口よりお入りください）

参加費：会費 1000円

プログラム 司会：室谷和宏 梶田雄介 川浪亮太 佐々木将平

第一部 13:35～15:20

第1回日本放射線医療技術学術大会 演題発表

- 演題1 Dual energy CTにおける空間分解能がヨード密度値の精度に及ぼす影響
滋賀県立総合病院 三國 ほん香
- 演題2 Photon-counting CTにおける雑音特性の評価
大阪大学医学部附属病院 阪上 昌弘
- 演題3 フォトンカウンティング CT の低 keV 仮想単色 X 線画像を用いた3D 血管構築の検討
神戸大学医学部附属病院 石川 和希
- 演題4 IVR-CTにより診断された腹部大動脈1次分枝の vasa vasorum 破綻による大動脈被膜下血種の1例
京都済生会病院 放射線科 山口 浩輝
- 演題5 CT 透視下 IVRにおいて C-FOV の違いが画像に与える影響についての検討
大阪ろうさい病院 八木 聡
- 演題6 椎体インプラントにおける edge 強調関数を用いた再構成の有用性
京都医療センター 木村 浩一
- 演題7 当院における造影剤減量プロトコルの標準化
東住吉森本病院 竹中 弘樹

—（休憩 10分）—

第二部 15:30～17:15

- 演題8 息止め困難な患者に対し高速撮像が肺動脈 CTA と肺還流イメージ取得に有用であった症例
神戸大学医学部附属病院 志茂 佑華
- 演題9 嚥下造影検査におけるアンダーチューブ方式は患者・検査介助者の被ばくを大幅に低減する
京都大学医学部附属病院 寺崎 圭
- 演題10 腹部 X 線透視検査における鉛アームサポートによる術者被ばく低減効果の評価
滋賀県立総合病院 赤塚 卓久
- 演題11 腹部大血管ステントグラフト内挿術(EVAR)における側枝塞栓手技が患者被ばく線量に与える影響
大阪大学医学部附属病院 戸田 博士
- 演題12 X 線プロテクタの被写体間距離による被ばく線量の検討
田附興風会 医学研究所北野病院 中村 好貴

第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 演題発表

- 演題13 主幹動脈閉塞症例に対する血栓回収術のための頭部 CTA 画像を用いた Guiding Image 作成の試み
兵庫医科大学病院 萩原 芳明
- 演題14 頸動脈ステント留置術を目的とした透視条件の比較検討
大阪急性期・総合医療センター 医療技術部 宮原 哲也

（敬称略）

★[関西 IVR 撮影技術研究会は日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構\(出席:1単位\)、
日本救急撮影技師認定機構\(出席:2ポイント\)の認定団体です。](#)